

---

---

# コンピュータ活用事例実践報告

南中学校

---

---

## 1 はじめに

平成10年度、本校に40台のWindows機が導入されてから3年がたとうとしている。ネットワークが導入されていることから、どの教室からでもインターネットを活用した学習や共有ファイルの参照・データの一元管理等ができるようになってきている。まだまだ不十分ではあるが、参考になればと思い現在までの取り組みを紹介したい。

## 2 導入システムの特徴

- ・校内全教室にネットワーク端子が設置されており、どの教室からでもインターネットを用いた学習が展開できる。
- ・データや資料をネットワークサーバーに保存することにより、どの教室からでも資料を活用した授業の展開が可能。また、生徒作品等の保存が可能。
- ・コンピュータの設定をやたらに変更できないようなソフトが導入されている。
- ・インターネット活用時における有害情報をカットするソフトが導入されている。
- ・パスワードにより教師専用フォルダ、参照フォルダ、読み書き可能なフォルダを分けている。

## 3 コンピュータの活用事例

- ・CD-ROMで図形の学習・統計処理でのグラフ化(数)
- ・世界の国々の様子・アメリカの産業調べ・資料作成(社)
- ・CD-ROMで資料検索・情報収集(社)
- ・人体のしくみ等、CD-ROMを使用した調べ学習(理)
- ・画家の情報収集・美術館探訪をし、自分の作品にいかす(美)
- ・ホームページ制作に関する情報検索(美)
- ・調べ学習における情報収集(保体)
- ・情報リテラシー・ワープロ・画像処理・表計算等のソフト活用(技家)
- ・デジカメ活用・マルチメディア作品の制作(技家)
- ・それぞれの教科で教材研究のための情報収集
- ・上級学校訪問や進路選択における高等学校の情報収集
- ・修学旅行班行動のための情報収集
- ・スキー教室での情報収集
- ・林間学校での野外炊飯・オリエンテーリング等の情報収集
- ・文化祭等の行事で、デジカメ・プロジェクタを使用した発表での活用
- ・各行事をデジカメで記録し、データベース化
- ・校内情報ネットワークの作成
- ・ホームページ委員会でのホームページ作成
- ・心の健康情報センターモデル事業でのホームページ作成
- ・総合学習における情報収集、原稿作成、発表等での情報機器の活用

#### 4 活用しての感想

- ・コンピュータが一般的になり、基本操作には慣れている生徒がほとんどである。気をつける部分はファイルの保存、呼び出しの部分でネットワークサーバーの決められたフォルダにアクセスするときと、たくさんの生徒が使用するため独自の設定を施さないようにさせる等である。
- ・深谷市児童生徒コンピュータ作品展への参加作品でも、豊富な色や技巧をこらした制作が可能で、生徒の感性を活かした作品が増えている。
- ・インターネットは主に情報収集に活用してきたが、最新の情報を得ることが手軽にできることから、かなり便利に活用されている。
- ・インターネットの有害情報をカットするソフトは、かなりの効果がある。ただ設定により制限のかかり具合が違うので、いろいろ試していく必要がある。
- ・ネットワークサーバーでのデータ管理は大変便利で、いつどの部屋からでも授業準備や活用、閲覧ができることはこれからさらに必要になると思われる。
- ・職員室でも別のLANが生まれ、便利に活用されている。さらに広まりを進めていく必要がある。
- ・デジカメは画像をFDに保存するタイプになったため、コンピュータで画像を呼び出す作業が簡単になり、活用も進んだ。

#### 5 問題点

- ・コンピュータになれている生徒が増えたことは良いが、Windowsの性格上それぞれの生徒が独自の設定方法を施すことがある。特に日本語入力の設定変更等独自にされると、次にそのコンピュータを利用する生徒には戻せない場合も多々あり、操作方法の統一も必要である。
- ・インターネットでの調べ学習では、条件の与え方を工夫しないと必要な情報にたどり着くまで時間がかかる。また、安易に印刷をすると何ページもの印刷をすることになり、インターネットIクブローラーのバージョンアップや、利用の仕方等を考えなくてはならないだろう。
- ・ISDN 128kb接続にしても一度に全部がインターネットをやることは不可能で、高速回線への接続が必須である。
- ・ネットワークを使用してファイルを削除した場合は、2度と復活が不可能となるため、間違っって削除してしまった場合の対処をしておく必要がある。
- ・心の健康情報モデルセンター事業への取り組みで何度も話し合い、検討を重ねてきたが、目的、どのような情報を発信するか、どのように活用していくか等、さらなる検討が必要で、学校のホームページにおいても同じようなことが言える。
- ・授業での説明時に教師用画面をプロジェクタで映しだしているが、小さい文字が見づらい。また、一斉に集中させたりする場面を考えると画像転送システムが必須である。

#### 6 おわりに

インターネットが当たり前のように使われている今日、生徒は臆することなくコンピュータに向かい、情報を得ようとしていく。今まで図書室や教科書、あるいはインタビューなどしてきた情報手段にインターネットが加わったのである。そして、発表の道具として活用する場合も文字だけの発表でなく、画像が加わり、よりマルチメディア作品となってきている。総合学習でも多めに活用できるものであることから、教材・教育機器の適切な活用のため校内研修の充実が求められる。これから生きていく者として、情報リテラシーを身につけさせることは、絶対に忘れてはならないであろう。